

会 議 録

会 議 名 称	令和5年度 第1回登米市総合計画審議会
開 催 日 時	令和5年8月21日（月） 午後1時30分開会 午後2時38分閉会
開 催 場 所	登米市役所迫庁舎 2階 大会議室
議長（会長）の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者（委員）の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 登米市子ども・子育て会議 片岡 大助【副会長】 登米市景観形成会議 寺島 洋子 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 中村 彰宏 登米市中学校長会 佐々木 貴子 特定非営利活動法人登米市体育協会 関 壮一 登米市文化協会 理事長 鈴木 敬一 一般社団法人登米市医師会 高橋 雄大 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 宍戸 敬吾 登米市民生委員児童委員協議会 佐々木 啓 登米市食生活改善推進員協議会 千葉 みどり 一般社団法人登米市観光物産協会 猪股 育夫 登米地域商工会連絡協議会 今野 秀俊 みやぎ登米農業協同組合 伊藤 良晴 登米市環境市民会議 菅原 亜希子 公益社団法人とめ青年会議所 杉山 孝俊 以上16人
欠席者（委員）の氏名	登米市都市計画審議会 青柳 善信 登米市男女共同参画審議会 須藤 明美 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 及川 清 登米市コミュニティ推進連絡協議会 伊藤 博 以上4人
事務局職員氏名	【事務局】 まちづくり推進部 部長 佐藤 靖 まちづくり推進部次長兼まちづくり推進課長 岩淵 治 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長補佐（総合調整）岸名 紀彦 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長補佐兼まちづくり推進係長 高倉 徹
議 題	【協議事項】 ①第二次登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する成果の検証について ②第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する成果の検証について ③登米市過疎地域持続的発展計画の施策区分で設定する目標の達成状況の評価について
会 議 結 果	別添のとおり
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	【資料1】 第二次登米市総合計画 令和4年度実施状況について 【資料2】 第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度実施状況について 【資料3】 登米市過疎地域持続的発展計画 令和4年度達成状況の評価について

発言者	発言要旨
【1 開 会】	
事務局	<p>本日は、お忙しいところご出席をいただき、ありがとうございます。ただいまから、登米市総合計画審議会を開会させていただきます。本日の審議会は、次第にありますとおり、委嘱状の交付及び議題3件について審議をいただくこととしております。</p> <p>なお、本日の審議会におきまして、次第裏面の委員名簿3番、青柳善信委員、4番、須藤明美委員、飛びまして16番の及川清委員、19番の伊藤博委員の4人から欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>それでは、これより新たに就任される委員の方々に丸山副市長から委嘱状の交付をさせていただきます。</p>
【2 委嘱状の交付】	
	<p>副市長から就任される委員に対し、委嘱状を交付。 委嘱状交付後、副市長退席。</p>
【3 挨拶】	
会 長	<p>皆様、改めましてこんにちは。</p> <p>本日は、大変暑い中お集まりいただき、ありがとうございます。今日の午前中、佐沼中学校出身の選手が甲子園で活躍していただき、決勝進出ということで、是非とも明後日も頑張ってください、明るい話題を届けていただければと期待しているところでございます。</p> <p>さて、本日の審議会でございますが、第二次登米市総合計画、それから、第二次まち・ひと・しごと創生総合戦略並びに登米市過疎地域持続的発展計画、その3つにつきまして、成果の検証をしていただくというところでございます。総合計画の方は、令和7年度の目標に向け、既に7年が経過しているという中で、その成果を着実に進めているもの、あるいは若干問題を抱えているものもあるかと思っておりますが、いずれにしろ、次期計画に向け、しっかりと検証し、次期の計画につなげていくということが大切だと思っております。</p> <p>第二次まち・ひと・しごと創生総合戦略、過疎地域の持続的発展計画も、計画期間の半ばを経過しているということで、目標年次に向けて、しっかりと進めていくために、皆様方から忌憚のないご意見をいただきながら、しっかりと進めていただきたいと思いますので、本日はよろしく願いいたします。</p>
【4 議 題】	
事務局	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>議長につきましては、登米市総合計画審議会条例第7条の規定により、会長が議長となり、議事の進行を行っていただくことになってございます。徳永会長、よろしく願いいたします。</p>
会 長	<p>それでは、議長として進めさせていただきます。</p> <p>まず始めに、登米市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により、審議会の会議は、委員の半数以上の出席が必要ということでございますが、本日は20名中16名の委員に出席をいただいておりますので、会議は成立しておりますことを確認いたします。</p> <p>次に、会議録署名人でございますけれども、本日は11番の穴戸敬吾委員と12番の佐々木啓委員をお願いしたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、4の議題に入ります。</p> <p>「(1) 第二次登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する成果の検証について」ということで事務局からの説明をよろしく願いいたします。</p>
事務局	(配布資料1に基づき説明を行う)

会 長	<p>それでは、委員の皆さんからご意見、ご質問等いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
会 長	<p>例えば8番のように、コロナの影響でなかなか事業が実施できなかったということですが、その一方で、2番にあるようにコロナで対応が難しい中で、YouTubeを活用してというようなことを行っているわけですが、そのことをきっかけに、いろいろな手段を活用して、そのような取組もしており、活性化に向けて強力なツールを活用してきたと思うが、この他にもこういう取組をしたことなど、もし分かる例があれば、教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>今のお話のとおり、比較的昨年度まではコロナの影響により実績値が減っているものが目立っていたという状況です。やはり、そのままではダメだといったご意見等がございましたので、取り組める事業につきましては様々な工夫をして実績を上げるよう、様々な取組や違う角度からのアプローチによる事業展開により回復したのも令和4年度には出てきたとは思っております。</p> <p>ただし、全てがそのような回復に向かったかという点、そうではありませんが、やはり、そのコロナの影響は、5類に移行したからといって完全に元に戻るわけでもありませんし、各事業担当課の方で様々な工夫をして、単純にコロナ前に戻すのではなく、新たな視点で、新たな事業展開をしていくという項目が見受けられると分析しております。</p>
会 長	<p>インターネットを活用して情報発信していく、あるいは交流していくという取組が、最近、他の市町村でも活発に行われていたり、取組もうとしていたりしているところもありますので、庁内での交流に限らず、広く情報発信をしていくところでも強力なツールだと思いますので、その辺りもしっかり検討していただければと思います。</p>
会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>それでは、次の第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略とも関連する部分もありますので、いったん先に進ませていただき、また併せて、ご意見等をいただけたらと思います。</p> <p>それでは、「(2) 第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する成果の検証について」、事務局から説明をよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>(配布資料2に基づき説明を行う)</p>
会 長	<p>それでは、皆様の方からご意見等を頂戴したいと思います。</p>
副会長	<p>私は、子ども・子育て会議からの委員なので、そちらの方からご質問したいと思います。幼稚園の仕事は始まりがあって終わりがないと、10年ぐらい前にはそのように言われておりました。それで、勤務される先生方は午後7時や8時までいろんな仕事をしていました。民間では、そういう形態でして来ましたが、国の方で働き方改革としていろんな改善がなされ、幼稚園や保育園も行事を見直したり、文書の作成などの作業を見直したりしまして、今は、延長保育による午後6時半まで子供を預かる時間帯となっていますので、午後6時台には帰られると職場環境が大幅に改善されました。そうしていかないと、若い人たちが来てくれないということもありますので、やっと、そういう改善が軌道に乗ってきたかなと思っております。</p> <p>しかしながら、私も自宅が中田町なので、中田総合支所の前を通りませんが午後8時半頃に通ると1階から3階まで電気が点いています。他の職場の方に環境を改善すると一生懸命やってきて、民間は改善されてきているのに、市の公務員の方々が毎日のように遅くまで仕事をされている。それは安心していいのか、それとも心配していいのか。</p> <p>聞くところによると、いろんな用事があつて、市役所に行った時に、</p>

	<p>「あれ？担当の方変わったんですか」と聞いた時に、「3か月ぐらい休んでるんです」というケースが2、3回ございました。やはり、ここに掲げる魅力ある職場、それが役所の方でリーダーシップを取れてないのではないかなというように思いますが、その辺のところは、市として、どのように考えているのかと思います。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ただいま頂戴したご意見ですが、内容を申しますと、役所としては様々な行政の業務がございます。また、新たに地方分権に関しまして様々な事業が地方の方に落ちてきております。</p> <p>一方、職員の定数は合併以降、約25%強減っており、単純計算でも一人当たりの仕事が増えております。これは公共福祉のために必要なことですので、仕事を辞めるという選択肢はなく、仕事を楽に進められるような、いわゆる電子化やDXを推進していくことで、職員一人一人の勤務の中身の変換をしていかなければならないと考えております。</p> <p>役所では午後8時、9時まで電気が点いているという声が、何年か前からいただいていることとございますので、なるべく午後7時ぐらいには庁舎の明かりが消えて、その分、家庭に帰って、また地域に帰って、様々な余暇活動などができるような体制を組んでいけるように、少しずつではありますが、取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解いただければと思います。よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>今浮かんできましたが、コロナの影響を受けて良くなったことで、リモートワークやリモートでの打ち合わせが可能になって、出張などの移動にかかる時間を減らすことができたということがあると思っておりますが、そういうことも活用しながら、最近ではAIの活用をした話も聞きますので、積極的に情報収集しながら取り組んでいくことも必要ではないかと思ったところです。</p>
委員	<p>資料1の9ページのNo.36ですが、6次産業化認定事業者数のところで、目標に対する実績値が良かった要因、悪かった要因の記載で、「ノウハウやマンパワーが必要なことや認定のメリットが少ないこともあり」と書いておりますが、認定のメリットが少ないのにやる意味があるのか、どういうことでこの認定を掲げているのかということ、それからノウハウが分からないのであれば、行政として、そういったノウハウを教えるようなシステムというのはあるのかどうか教えていただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>事業の細い部分になりますと、事務局では把握しきれていないところがあります。大変申し訳ありませんが、認定のメリットが少ないといったところの記載など表現についても、考えさせていただきたいと思っております。</p> <p>また、今のご意見につきましては、しっかりと担当部局には伝えさせていただきます。</p>
委員	<p>No.38中小企業振興資金融資実行額ですが、目標が210,000千円で令和4年度実績が99,000千円くらいとなっております。これは、多い方が良いというものなのでしょうか。たくさん融資をすれば、産業が発展することなのでしょうか。この金額が少ないのが良いことなのか、悪いことなのか教えていただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>この事業は産業経済部での事業となりますが、公費を金融機関に預託して、その倍率をもって、事業資金として設備投資や運転資金に活用していただくというものです。</p> <p>確かに資力がしっかりあれば借りずに済むというところもございしますが、市としては公費を一度、金融機関に預託して年度末には同額返って来ますが、それを担保に市内の中小企業の事業資金をとって借りていただいて、当然返済計画も立ててもらいながらというところで、より多く</p>

	<p>の方に借りていただき、事業の拡大として設備投資などを行っていたきたいという思いで産業経済部では事業を持っているところでございます。</p> <p>しかしながら、やはり、返す当てが厳しいことや、今は新たな設備投資は控えるべきだということも市内の中小企業の判断も必要なところですので、確かに少ないのが良いのか、多いのが良いのかというところについての返答は難しいところでございます。</p> <p>こちら、しっかりと担当部局の方に、いただいたご意見をつないでいきたいと思っております。</p>
委員	<p>11ページのNo. 45のサンクチュアリーセンター入場者数ですが、これは意見となりますが、私自身、数年前にこちらに来た時に道路を走行していて、サンクチュアリーセンターの看板があって、綺麗な状態でしたが、最近の状況では、看板が非常にボロボロになっております。</p> <p>このような状況では、誰も来なくなってしまうのではないかなと思っておりますが、その辺についてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>一般的なお話ということで、担当部局には全体的にお話をさせていただきます。やはり施設のPR看板になりますし、あとは、初めて登米市にお越しになった方に対して印象の状況も変わってくると思いますので、やはり、施設ごとに再点検をしていただいて、不要になったものであれば廃棄、きちんとPRすべきものであるというものであれば、きちんとした状況確認と予算付けをしながら進めていきたいと思っております。</p> <p>せっかくあるのにみっともないものを掲示するのはどうかというご意見かと思っておりますので、各部局に確認等の徹底をさせていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>見た目っていうのは重要だと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>最後に、資料2の2ページのno. 1の婚姻数、これは年間数となっておりますが、イベントを開催するようなことを書いております。</p> <p>このイベントを機に結婚した人数ではなく、年間の婚姻数というものです。イベントによる成果は、どこかで評価されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>イベントにつきましては、成果の取り方が非常に難しく、当市ではイベントをスタートとして交際に発展し、婚姻に至るという実績も考えておりました。</p> <p>現在、登米市においては、市独自のいわゆる出会いを作るイベントについては実施しておりません。理由は、数年前まで実施しておりましたが、ある程度、参加者の固定化が見られるということがあり、今は、県境を供にする栗原市、一関市、平泉町と4市町による連携事業として、合同で、いわゆる婚活イベントさせて頂いております。</p> <p>婚活イベントを広域にした理由は、固定化を打破するために知らない地域の方と出会っていただくことです。婚姻は、まずは出会いをつくる必要があるということで、出会いの方を設定させて頂いておりますので、このイベントがスタートで婚姻したというところは指標設定してございませんし、数値としても捉えていないところです。あくまでも行政としては、出会いをしていただく場を提供したいということですので、ご理解をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>いろいろご意見を頂きました。</p> <p>私からも、例えば県北道が整備され、三陸道がつながった中で、三陸道経由での流れということも踏まえていただきたい。そういった中で、これまでとはまた違った流れの把握の仕方とか、そういうことも積極的に考えていかないと、なかなか踏み込めないというところもありますので、特に今回の総合計画や総合戦略には、こういう交通の整備に伴って</p>

	<p>どういふ戦略をしていくのかといった視点があまりなかったのかなと思いますので、そのあたり、この総合計画や総合戦略にはないかもしれないけれど、時期を睨みながら、出来るものは積極的に取り組んで頂ければありがたいと思っております。</p> <p>それから、今ご指摘いただいた中で、私の見方としては、その数値目標にとらわれ過ぎているのかもしれない。融資の話も、本来であれば設備投資ということなんだけれども、一方で運転資金としても融資になっていたりすることもあるが、その区別もしっかり付けながら評価していかないといけないと思いますし、そこから、例えば、6次産業化のあまりメリットを感じられないというところがあったわけですが、おそらく、その6次産業化、農水省の方で認定したところで、実際に物が動いていうことは、商業ベースなので、そういう流通関係でなかなかしっかりと道筋が作れずに、淘汰とは言いませんが、あまり事業が大きくなならない事例がありますので、そういう課題もこの取組を通して、見えてきているのではないかなと思うので、この辺りも次期計画に向けて、今の数値を上げるってことだけではなく、次の計画にはどういふことを考えていかなければならないのかということ、そろそろ考えていかなければいけない時期に来ていると思っておりますので、それぞれの担当部局の方に、そういう視点もしっかり伝えていただければと思います。</p>
会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>それでは、次も関連している部分もございまして、「(3)登米市過疎地域持続的発展計画の施策区分で設定する目標の達成状況の評価について」事務局よりご説明いただき、また併せて質疑等をいただければと思います。</p> <p>説明をお願いいたします。</p>
事務局	(配布資料3に基づき説明を行う)
会 長	<p>それでは、こちらにつきまして、先ほどの総合計画、総合戦略でも構いませんが、ご質問ご意見等がございましたら、よろしく願います。</p>
委 員	<p>2ページのNo.4誘致企業数ですが、私、病院に勤めていて、登米市というのは非常に地理的にかなり不利な場所とされていて、高速道路はみやぎ県北幹線道路や三陸道はありますが、やはり仙台から非常に遠いということで、医者もなかなか集まってくれないという所です。</p> <p>同じように、企業についても、素人目から見ると、やはり地理的にかなり不利な場所ではないかと何となく思っております。そういった中で、何を売りにして、企業誘致を図っていくのか。</p> <p>だから、その戦略がなかなか見えないし、なかなか企業も来たいなどは思わないのではないかと思います、その辺のところをどのように考えているのか教えていただければと思います。例えば、税制的に優遇をしていることなどがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>市内の企業誘致については、迫町の北方にありますし、また、過疎地域におきましては、登米インター工業団地がございまして。今回、登米インター工業団地で企業が入りましたが、市内の企業ということで、市外からの新規事業者は来なかったということで0件となっております。</p> <p>こちらの取組としては、委員からお話をいただいたとおり、固定資産税の軽減等を図っているところとございまして。それにつきましては、こういった分野であっても固定資産税の優遇がされますので、本当に登米市ならではの、例えば、水が豊富だとかそういったものを使う企業という限定は、今のところはございませんが、出来れば市内の既存の企業とつながりがあって、新規企業や市内事業所と、しっかりと活性化をするというような目的は持っておりますが、実際には見えにくいというご</p>

	<p>意見でございますので、大変申し訳ございませんが、この件についても、しっかりと担当部局の方にお伝えして取組を進めていかなければならないと考えてございます。</p> <p>どうぞ、よろしく願いいたします</p>
委員	<p>ありがとうございます。村田製作所は、水がきれいだとか、そういったので来たのかなと思ったところです。例えば、そういった、何で来てくれたのかなというところの話があれば、少しは見えるのかなと思いついて、質問したところです。</p>
事務局	<p>すみません。村田製作所の誘致につきましては、合併前の迫町の時からございまして、どういった経緯で来てくれたかというのは、把握できておりません。申し訳ございません。</p>
委員	<p>そういった、いろんな企業の所からいろんな意見を聞いて、何か対策立てるといっても1つの手なのかなと思いついたので、申し上げたところでした。</p>
事務局	<p>様々な要因がある中で、どのような理由でお越しになったのかというようなところを分析することで、それに対する支援策であるとか、拡張していくとかという情報になるのではないかとということで、お話しいただいたと思いつきます。</p> <p>既存の来ていただいた企業にも、その辺の確認を担当部局の方にさせていただき、「こういったところが魅力的だったんだ」と、例えば、土地柄であるとか、いわゆる税制の優遇であるとか、その複合であるとか、様々な要因を聞きながら、他の自治体にならぬ登米市の良さを、市長自らもPRを直接に行っておりますので、そういった時に説明できるような資料として手元に携えられるよう、こちらの方でも取り組んでまいりたいと思いつてございます。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>
会長	<p>その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>今回、資料も多く、まだ読みきれていない部分もあろうかと思いつますので、また、お気づきの点があれば、事務局の方に直接お話をさせていただければと思いつます。</p> <p>それでは、本日の議題の方は以上ということにさせていただきたいと思いつます。</p> <p>本日、いろいろご意見を頂きましたが、やはり目標を単に達成出来た、出来ないということではなく、今後どう取り組んで行くのか。そこは評価表の方に、それぞれの部局の方で今後どうするかといったところは書いてあるわけですが、それが単に数値目標を達成するためにということではなく、その先の登米市が持続的に発展できるように、そういう視点で今後どうするのかといったところをしっかりと考えていき、次期計画につなげて行っていただければと思いつますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは進行の方、事務局にお戻ししますので、よろしく願いいたします。</p>
【5 その他】	
事務局	<p>大変貴重な意見を頂きまして、ありがとうございます。</p> <p>次に、次第の5、その他でございますが、事務局からは特にございません。委員皆様方から、何かご意見等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは、閉会の挨拶を片岡副会長にお願いいたします。</p>

【6 閉 会】	
副会長	<p>皆さん、大変お疲れさまでした。</p> <p>今回、資料のボリュームがあり、私も自分の仕事等に照らし合わせて読んだつもりですが、なかなか登米市を良くしていくってことは、本当にいろんな観点から見ても大変だということをつくづく感じさせられました。</p> <p>冒頭のご挨拶で、会長が話しましたように、明るいニュースが、登米市からどんどん発信されるような、そういうまちづくりをして行ければいいのかなと思っております。</p> <p>私の立場からは、是非、少子高齢化と上手く付き合っていきながら、良い登米市を作っていければと思いますので、どうぞ皆さん、今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>片岡副会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして、令和5年度第1回登米市総合計画審議会を終了させていただきます。</p> <p>大変ありがとうございました。</p>